

CT 被ばく線量管理方法の検討に関する情報公開

1. 研究の対象

当院において 2019 年 1 月 1 日～2020 年 7 月 31 日の間、Cannon 社製 Aquilion ONE 及び Siemens 社製 Definition Flash にて CT 検査を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は名古屋大学大学院医学系研究科生命倫理委員会の承認を受けて行われます。

CT 検査は X 線を用いて体の断面図を撮影する検査です。医療法施行規則の一部を改正する省令（平成 31 年厚生労働省令第 21 号）等に基づき、CT 検査での線量情報を電子的に記録し、患者単位及び検査プロトコル単位で集計・管理の上、被ばく線量の最適化を行うことが求められています。

本研究の目的は、撮影装置、撮影プロトコル別に患者の体格と被ばく線量に関するデータを収集・解析し、適切な管理方法の構築を行うことです。

本研究では CT 撮影室に設置されている、被ばく線量管理専用端末において、通常管理業務として行われている線量データの抽出、解析を行った結果を利用します。撮影装置、撮影プロトコル毎に振り分けられた線量情報データを元に、分析を行います。

研究の対象となるのは、当院で 2019 年 1 月 1 日から 2020 年 7 月 31 日までに Cannon 社製 Aquilion ONE 及び Siemens 社製 Definition Flash にて CT 検査を受けられた方になります。利用するデータ等は、匿名化をした上で DVD に保存をし、鍵のかかる場所に保管・管理をします。

研究期間は、実施承認日から 2022 年 3 月 31 日までを予定しています。研究期間終了後は、画像データが入った DVD は 10 年間保管をし、その後直ちにデータ復元不可能な状態で廃棄する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・撮影条件及び、被ばく線量指標（管電圧、管電流、撮影長、CT 線量指数 (CTDIvol)、長さ線量積 (DLP) など)
- ・身長、体重などの身体情報

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内

で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 前田悠一郎

住所：〒466-8560

名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

直通電話番号： 052-744-2534

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 阿部真治

住所：〒466-8560

名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

直通電話番号： 052-744-2528